



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月4日

上場会社名 不二ラテックス株式会社

上場取引所 東

コード番号 5199 URL <https://www.fujilatex.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 安弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 金原 辰弥

TEL 03-3293-5686

四半期報告書提出予定日 2023年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	1,872	11.0	99	48.7	86	53.4	63	51.4
2023年3月期第1四半期	2,103	1.1	194	19.1	184	16.2	130	15.2

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 88百万円 (40.6%) 2023年3月期第1四半期 148百万円 (6.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	49.97	
2023年3月期第1四半期	102.81	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	11,743	3,601	30.7
2023年3月期	11,474	3,576	31.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 3,601百万円 2023年3月期 3,576百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期				50.00	50.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,900	6.5	247	33.9	237	35.9	165	36.0	130.12
通期	8,100	0.2	667	12.3	586	19.7	395	23.6	311.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	1,286,199 株	2023年3月期	1,286,199 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	18,083 株	2023年3月期	18,075 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	1,268,123 株	2023年3月期1Q	1,268,396 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、非製造業が引き続き順調な回復をみせたほか、供給制約の緩和や資源価格の下落などを受けて、製造業でも景況感に若干の改善がみられました。

世界経済については、新型コロナウイルスの鎮静化によるサービス消費への着実な回帰によりサービス業が好調のため底堅く推移しましたが、製造業における投資縮小や工業生産の減少により先進国においては経済成長率の減速が予想されています。

このような状況の下、当社は前年度の好調な売上高を継続することに注力しましたが、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,872百万円と前年同四半期に比べ231百万円(△11.0%)の減少となりました。

また、売上減少による減益に加えて、処遇改善による労務費増加等による原価率の上昇などの減益要因も重なり、営業利益は99百万円と前年同四半期比で94百万円(△48.7%)の減益、経常利益は為替差損の増加による営業外費用の増加により、86百万円と前年同四半期比で98百万円(△53.4%)の減益となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は63百万円と前年同四半期比で67百万円(△51.4%)の減益となりました。

各セグメントの業績は次に示すとおりであります。なお、セグメント損益は、営業利益または営業損失に基づいております。

① 医療機器事業

主力のコンドームは、国内では製品絞り込みにより前期比減収、海外向けについては出荷調整による減収となりましたが、新素材コンドームSKYNをはじめ、ヘルスケア商品群の売上が概ね好調に推移しました。また、メディカル製品は前期比で増収を確保しました。

利益面では不採算製品の見直し、生産歩留まりの向上、販売費節減へ継続的に取り組み一定の成果がみられました。また、メディカル製品につきましては、生産部門・販売部門一体となった効率化に取り組みましたが、一部製品の歩留まり低下や労務費等のコスト増による原価上昇を吸収できず減益となりました。

この結果、売上高は556百万円と前年同四半期に比べ69百万円(△11.1%)の減少となりました。

セグメント損益は、円安の進行による一部輸入品の採算低下も影響し、13百万円の損失(前年同四半期は10百万円の損失)となりました。

② 精密機器事業

精密機器事業は前期終盤から顕在化してきた世界的な設備投資停滞傾向や一般産業機械市場の低迷が依然として続いており、供給制約問題の解消に伴う滞留受注の一扫や在庫調整による反動減も減収に影響しました。

利益面では、売上減少に伴う減益に加えて、労務費の増加や原材料費上昇による利益圧迫要因が大きいものの、コスト増部分の価格転嫁や赤字取引条件の見直しなど利益重視の運営に注力していくことにより、原価率は改善する見通しです。

この結果、売上高は1,072百万円と前年同四半期に比べ236百万円(△18.1%)の減少となりました。

セグメント利益は、減収とコスト上昇先行要因により224百万円と前年同四半期に比べ69百万円(△23.6%)の減益となりました。

③ SP事業

主力取引先での需要回復や新商品の投入効果もあり、主力品のゴム風船及びフィルムバルーンの売上が好調に推移いたしました。

この結果、売上高は181百万円と前年同四半期に比べ80百万円(79.7%)の増加となりました。

セグメント損益は、物流コスト増や特注部品採用によるコスト増により仕入原価が増加し、1百万円の損失(前年同四半期は3百万円の利益)となりました。

④ 食品容器事業

販売単価値上げ前に発生した前倒し注文の反動減やコロナ明けのお土産需要増に一服感が出たことを主要因として、売上高は61百万円と前年同四半期に比べ5百万円(△8.4%)の減少となりました。

セグメント利益は、処遇改善による労務費の増加や人員増による原価率の上昇もあり、8百万円と前年同四半期に比べ12百万円(△58.1%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は、11,743百万円となり前連結会計年度末と比べ268百万円増加しました。主な増加要因は、現金及び預金の272百万円、商品及び製品の108百万円などであり、主な減少要因は、受取手形及び売掛金の178百万円などです。

負債総額は8,142百万円となり、前連結会計年度末と比べ244百万円増加しました。主な増加要因は、短期借入金の174百万円、賞与引当金の92百万円などであり、主な減少要因は、長期借入金の80百万円などです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、これら予想数値と異なる可能性があります。なお、2024年3月期の通期連結業績予想につきましては、2023年5月15日公表の2023年3月期決算短信の予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,939,566	2,211,920
受取手形及び売掛金	1,628,189	1,449,318
電子記録債権	502,922	516,959
商品及び製品	651,649	760,291
仕掛品	598,321	642,731
原材料及び貯蔵品	855,086	871,886
その他	77,177	98,267
貸倒引当金	△228	△222
流動資産合計	6,252,685	6,551,153
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,357,526	2,317,260
土地	1,777,718	1,777,718
その他(純額)	488,010	455,811
有形固定資産合計	4,623,254	4,550,790
無形固定資産	34,974	35,005
投資その他の資産	556,371	599,603
固定資産合計	5,214,600	5,185,399
繰延資産	7,503	6,996
資産合計	11,474,789	11,743,549
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	329,415	372,813
電子記録債務	915,493	969,246
短期借入金	2,683,000	2,857,000
1年内返済予定の長期借入金	341,332	336,332
未払法人税等	103,933	50,520
賞与引当金	206,005	298,516
その他	472,985	521,063
流動負債合計	5,052,164	5,405,492
固定負債		
社債	400,000	400,000
長期借入金	1,873,856	1,793,523
退職給付に係る負債	77,204	75,777
その他	494,681	467,285
固定負債合計	2,845,741	2,736,586
負債合計	7,897,906	8,142,079

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	643,099	643,099
資本剰余金	248,362	248,362
利益剰余金	2,306,628	2,306,598
自己株式	△40,605	△40,620
株主資本合計	3,157,485	3,157,440
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	108,046	129,665
土地再評価差額金	288,295	288,295
為替換算調整勘定	27,871	30,233
退職給付に係る調整累計額	△4,816	△4,163
その他の包括利益累計額合計	419,397	444,029
純資産合計	3,576,883	3,601,470
負債純資産合計	11,474,789	11,743,549

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	2,103,119	1,872,013
売上原価	1,582,807	1,426,772
売上総利益	520,311	445,241
販売費及び一般管理費	325,991	345,587
営業利益	194,319	99,653
営業外収益		
受取利息	1	52
受取配当金	3,448	3,622
受取賃貸料	3,399	3,399
為替差益	3,131	—
その他	745	999
営業外収益合計	10,726	8,074
営業外費用		
支払利息	15,197	13,580
賃貸費用	991	956
シンジケートローン手数料	1,874	1,874
為替差損	—	3,322
その他	2,202	1,862
営業外費用合計	20,266	21,596
経常利益	184,779	86,131
特別損失		
固定資産除却損	0	0
減損損失	523	928
特別損失合計	523	928
税金等調整前四半期純利益	184,256	85,203
法人税、住民税及び事業税	59,901	44,577
法人税等調整額	△6,055	△22,749
法人税等合計	53,845	21,827
四半期純利益	130,410	63,376
親会社株主に帰属する四半期純利益	130,410	63,376

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	130,410	63,376
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,722	21,618
為替換算調整勘定	8,634	2,361
退職給付に係る調整額	△644	652
その他の包括利益合計	17,712	24,632
四半期包括利益	148,122	88,008
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	148,122	88,008
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医療機器 事業	精密機器 事業	S P 事業	食品容器 事業			
売上高							
外部顧客への 売上高	625,661	1,309,374	100,877	67,205	2,103,119	—	2,103,119
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	625,661	1,309,374	100,877	67,205	2,103,119	—	2,103,119
セグメント利益 又は損失(△)	△10,322	293,877	3,308	21,346	308,209	△113,889	194,319

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△113,889千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「医療機器事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当第1四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は523千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医療機器 事業	精密機器 事業	S P 事業	食品容器 事業			
売上高							
外部顧客への 売上高	556,329	1,072,870	181,243	61,569	1,872,013	—	1,872,013
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	556,329	1,072,870	181,243	61,569	1,872,013	—	1,872,013
セグメント利益 又は損失(△)	△13,929	224,665	△1,486	8,945	218,195	△118,541	99,653

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△118,541千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。